

(1) 開催概要

※2025年日本国際博覧会基本計画より抜粋

- ◆ 名称 : 2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
- ◆ テーマ : いのち輝く未来社会のデザイン
- ◆ サブテーマ : Saving Lives（いのちを救う）
Empowering Lives（いのちに力を与える）
Connecting Lives（いのちをつなぐ）
- ◆ コンセプト : People’s Living Lab（未来社会の実験場）
- ◆ 会場 : 夢洲【ゆめしま】（大阪市此花区）
- ◆ 開催期間 : 2025年4月13日（日）～10月13日（月）184日間
- ◆ 想定来場者数 : 約2,820万人



(2) 未来社会のショーケース

提供：2025年日本国際博覧会協会

◆ 万博会場を未来社会のショーケースに見立て、先端的な技術やシステムを取り入れることで、未来社会の一端を実現することをめざす。

◆ 『People’s Living Lab（未来社会の実験場）』という、大阪・関西万博のコンセプトに基づき、多彩な企業や大学、公的機関等との共創を通じて、「Society5.0実現型会場」を創造し、来場者に驚きと未来への展望を与える。

＜検討中の事業例＞

※以下の事業で阻害要因となる規制については積極的に規制緩和を進める。

- ・チケットング、MaaS（マース）、自動運転
- ・来場者等の認証方法、セキュリティ、バックアップ等を確保するためのオペレーティングシステムの導入・活用
- ・カーボンニュートラル、エネルギーを最適化する技術
- ・水素エネルギー技術の導入
- ・モビリティ、チケット購入等を組み合わせた検索・予約・決済
- ・会場内の情報、周辺の観光情報等を、AIを活用し最適化し提供するアプリの構築
- ・空飛ぶクルマ
- ・高速・大容量、低遅延、多数同時接続の5G等ネットワークの整備
- ・清掃、ごみ運搬、物流、モビリティ等の分野におけるロボットの導入
- ・自動翻訳技術等の導入
- ・AR（拡張現実）、VR（仮想現実）、アバター等のバーチャル技術の活用



図 Society5.0実現型会場イメージ

提供：2025年日本国際博覧会協会

- ◆ 夢洲では2025年大阪・関西万博の開催に向け、会場整備やインフラ整備等の建設工事を円滑に行うため、工事車両の渋滞対策や作業員の円滑な移動などに取り組む必要がある
- ◆ グリーンフィールドである夢洲を実証の場に、最先端技術の活用による、**建設工事の安全かつ円滑な実施**を通して、QoLを高める技術の創出を推進し、万博及び将来の夢洲のまちづくりに活かしていく

夢洲建設プラットフォームの構築

工事現場内外の移動の円滑化

- ・ ICT技術による一元的な工事車両の運用管理
- ・ ICT技術による島外からの作業員用シャトルバス運行管理
- ・ AIを活用した現場内外の移動用ワンデマンドバス運行管理

工事現場への入退場等の円滑化

- ・ 顔認証システムの導入による作業員の入退場管理
- ・ 作業現場のキャッシュレス化

資材運搬・工事の円滑化

- ・ ドローンによる資材運搬（夜間自動運転）
- ・ 人とモノの同時搬送（貨客混載）
- ・ ドローンの遠隔操作による現場管理

作業員の健康管理の円滑化

- ・ バイタルデータ計測による健康一元管理（熱中症予防等）
- ・ 専属産業医の遠隔化、薬局外からの服薬指導

※各項目の取り組み内容は例示

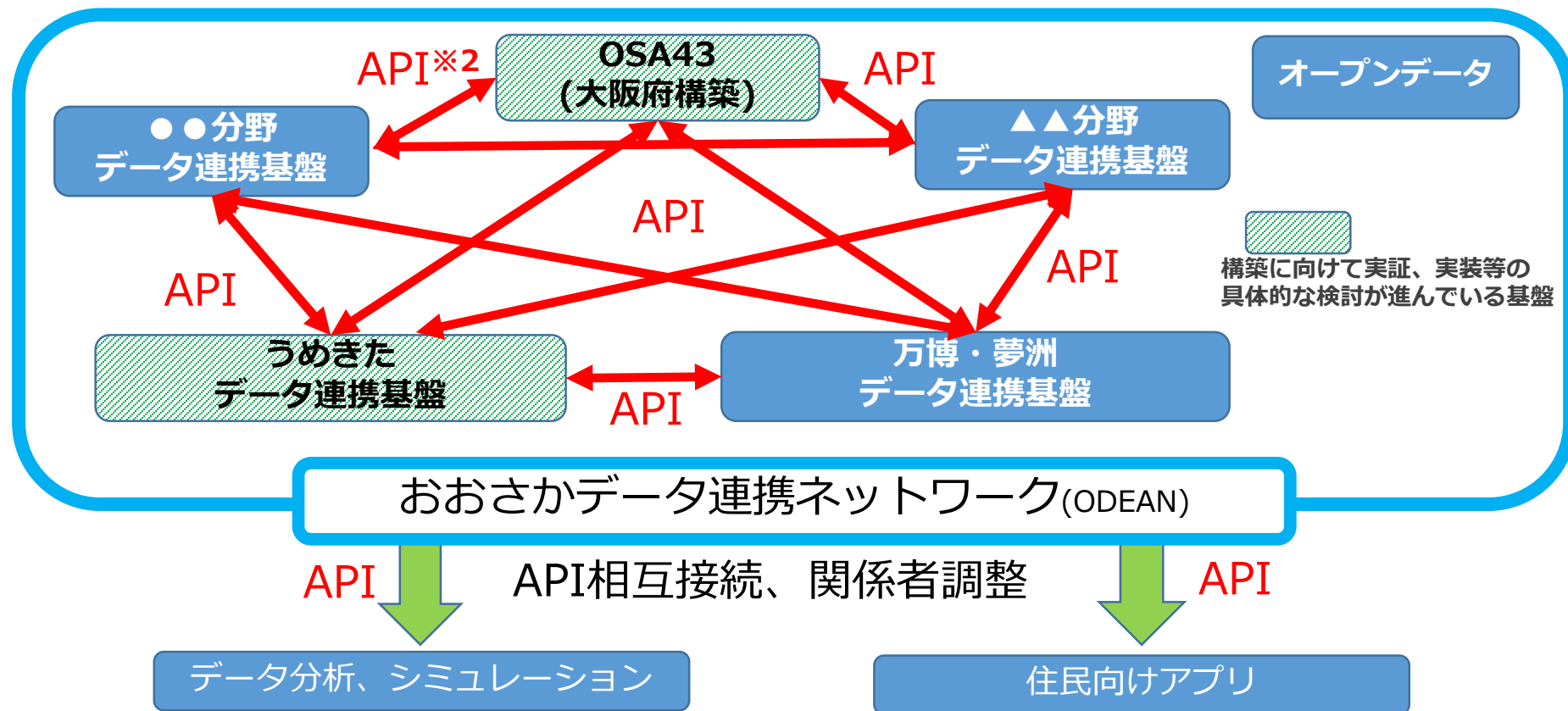


建設工事で実現した技術やサービスを万博や夢洲まちづくりでも発展的に活用

大阪府・大阪市が考えるデータ連携基盤間ネットワーク(ODEAN※¹) イメージ

※¹ ODEAN… Osaka Data Exchange Alliance Network

※² API… Application Programming Interface



- 本イメージは、あくまで現時点での仮の想定であり、運用体制、連携方法等、大阪におけるデータ連携基盤のありかたについては、令和3年度の検討事項

設置主体（事務局）：大阪府・大阪市

設置目的：大阪におけるスーパーシティの実現に向けた意見交換の場
(例)規制・制度改革、提供する先端的サービス案の内容等

設置予定日：区域指定後速やかに

(仮称)大阪府市スーパーシティ協議会

※事務局：大阪府・大阪市

大 阪 府

大 阪 市

スーパーシティ アーキテクト

経済団体

関西経済連合会 関西経済同友会
大阪商工会議所

(公社) 2025年日本国際博覧会協会

民 間 事 業 者 等

※事業の進捗に応じて追加

部 会

- 必要に応じ、部会を設置
- 部会には外部有識者等を招へいし、提言や意見を求めることができる

(注)データ連携基盤の運用管理体制については、別途、令和3年度検討予定

スーパーシティ及びうめきた2期地区、夢洲における全体スケジュール(想定)

